

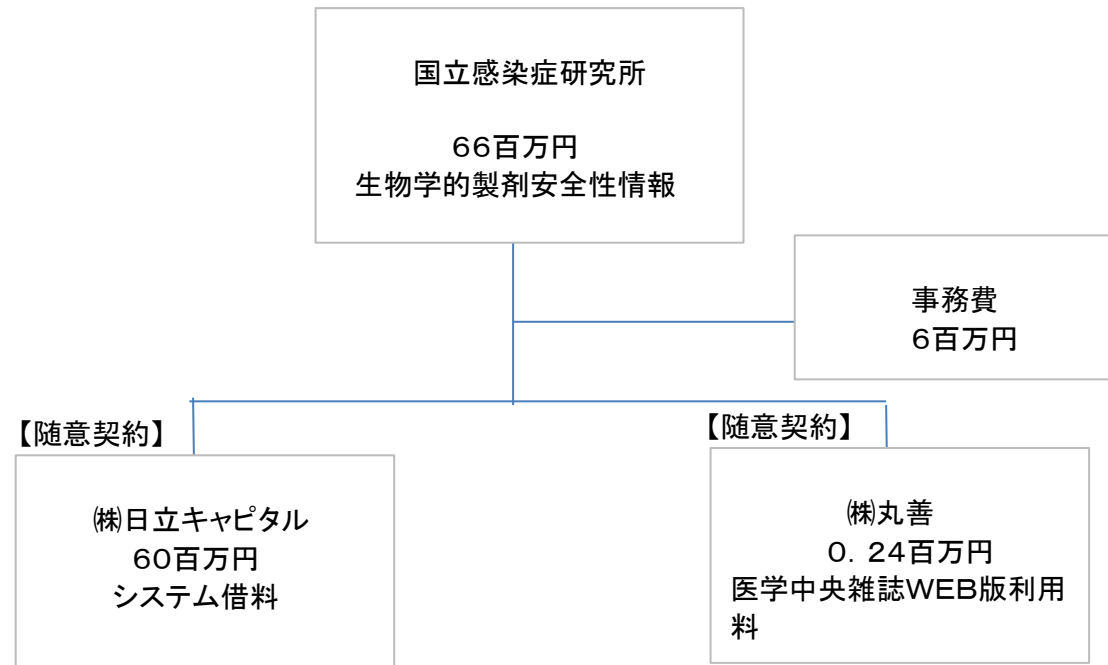
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生物学的製剤の安全性情報収集、解析、評価に係る研究事業費		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	総務部会計課		課長 星野 真	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内・国外での生物学的製剤に起因する感染症に関する科学的報告及び疫学情報を系統的、持続的、積極的に高感度で収集し、感染症研究所の専門家が感染症及び公衆衛生施策の視点からリアルタイムに情報のリスク評価を行い、厚生労働省担当部局と直ちに結果を共有することにより速やかな行政対応に繋げ、対策遅れによる被害を防止・縮小し、国の責務として国民に安全な生物製剤を供給する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)生物学的製剤に起因する感染症に関する科学・疫学情報をインターネット上に公開される報告・論文・感染症対策機関の出版物・学術会議発表等から系統的・持続的・高感度のシステムで収集し、(2)毎日数千件を言語学的フィルターと情報処理アルゴリズムによる初期解析後登録。(3)事務局3名により毎日約500件を二次スクリーニングし、既存の感染症サーベイランスや病原体情報を付加し、登録情報を分類。(4)感染研病原体専門家約20名が本システムへアクセスし、毎月数十件を随時精査し、(5)毎月および随時所内の評価委員会で情報の重要性和影響をリスク評価し、(6)健康危険情報を評価結果および科学的エビデンスをつけ厚生労働省担当部局に報告。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	当初予算	68	68	66	64	64	
	補正予算						
	繰越し等						
	計	68	68	66	64	64	
執行額	68	68	66				
執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業の目標は、以前のAIDSの様に輸血血液等の生物製剤を介して感染する新興・再興感染症を国際的に比較しても遅滞なく早期検知分析し、科学的根拠をもって所管部局を通じて被害の未然防止あるいは縮小を図ることによって、国民に安全な生物製剤を供給することであるため、不測の事態からの健康被害が発生した時点での対策効果の推計数値のみしか成果を示すことができない。事業開始以後は該当する事象は発生していない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	活動指標は6項目ある。1)自動収集システムによる情報収集量、2)情報収集対象数の拡大、3)自動収集システムの初期分析能力(的確な情報の採取、情報の特異性の維持、4)事務局の1日あたり情報分析・分類等処理量の維持、5)委員会からの評価結果報告数、6)報告からの行政的対応の発生数	活動実績 (当初見込み)	1~4) 収集・分析・評価情報件数	—	1,287,571 (10か月間)	2,946,895 (2,500,000)	— (3,100,000)
		活動実績 (当初見込み)	5) 評価結果報告件数	5	0	7 (—)	— (—)
		活動実績 (当初見込み)	6) 行政対応へつながった事案件数	1	0	1 (—)	— (—)
単位当たりコスト	22.3 (円/収集情報件数)	算出根拠	成果目標は「国民の安心と健康」であり、コスト換算は適当ではない。 活動指標のうち、数値的に向上の比較ができるものは、1)情報収集量、5)評価結果の所管部局への報告数、6)行政的対応となつた数であるが、5および6は生物製剤等の管理が国内で適正に行われていることの指標でありコスト算出にそぐわない。また、他の指標はすべて定性的要素を包含することから同様にコスト算出に不適当。したがって、1)の情報量収集に対するコストを示す。各活動指標にかかる事業費の割合を正確に算出することは不可能であることから、単にコストはあくまで参考と考えていただきたい。 X=平成22年度 機器リース料(保守・運用費を含む)および収集にかかる契約料等、Y=平成22年度 収集情報数(件数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求				
	旅費	0	0				
	文献費、消耗品費	1	1				
	時間給、雑役務費	5	5				
	機器借料	58	58				
	計	64	64				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・ 予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民に供給されている生物製剤の安全性を調査することが重要であり、国家の責務である。不用率は無い
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	単位当たりコストパフォーマンスはもともと良く、運用努力により年々向上しているが、その多くはシステム改良が必要であり、事業費にその点が許容されていないために今後困難になることが予測される。真に事業に必要な予算も圧迫されている。また、受益者たる国民の期待と安全な生物製剤の提供という国の責務について負担関係を問うのはことは難しい。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	不測の事態の把握について、他の手段としてこれまでとられてきたものは人件費を大量に使用するか、非専門家による情報収集であり、比較の対象が無い。国民の安心と健康についての成果目標は比較評価できない旨をすでに記載。類似事業は無い。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	システムリースはすでに4年前のリース賃借開始時に競争入札を導入している。情報源としての契約を医学中央雑誌とおこなっているが、これは唯一の日本語雑誌の登録検索システムであり、日本語での学術成果の早期入手には不可欠であるための契約である。研究事業費はシステムの必要な情報収集機能を最新のものに維持し、事業目的に沿った運用を行うために使用されている。一層の効率化を求められた結果、すでに小細目を整理し、事業のアウトプットの品質の維持に必要な項目に、重点的な配分をする様に改善している。事業の成果が数値として見えにくいのが、国内で検知されないままに生物製剤等に由来する感染症が拡大していないこと、本事業から事務連絡による情報周知が発生したことが、国民の安心と健康を守るという成果目標が達成されていることを示す。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	生物学的製剤に起因する感染症に関する科学的報告及び疫学情報を系統的、持続的、積極的に収集、リアルタイムに情報のリスク評価等を実施するために必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.株式会社日立キャピタル			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	システム借料(H20. 10~H24. 9 複数年リース契約)	60			
計		60	計		0
B.株式会社丸善			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務	医学中央雑誌WEB版利用料	0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立キャピタル	生物学的製剤安全情報収集システム借料(H20. 10~H24. 9までの複数年契約)	59.92	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)丸善	医学中央雑誌WEB版利用料	0.24	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					